



[2018](#)



[ペタンクねんりんピック代表2018](#)

第29回静岡県すこやか長寿祭スポーツ・文化交流大会ペタンク競技の予選会に優勝して、ねんりんピック富山2018の静岡県代表の座を得た三島市向山チームを取材しました。

取材した8月18日は酷暑が終わり、初秋を感じるような清々しい日でした。向山小の木陰のある運動場の片隅が練習場です。

写真左は県代表としてねんりんピック富山に出場する4人です。左から鈴木靖男さん(67才)、古屋イチ子さん(71才)、小越清子さん(72才)、そして、監督兼選手の古屋均さん(69才)。

写真右は県代表を送り込んだチームの皆さんです。チームを結成して3年目、ねんりんピックに挑戦して2年目に県代表としてねんりんピックの出場権を得ることが出来ました。その練習方法を取材しました。



[ねんりんピックペタンク代表2018](#)



[ペタンクねんりんピック代表2018](#)

9時頃からボール(ブールとも言う)、椅子、ドリンクを持って三々五々集まって来ました。練習日は毎週土日の午前中です。

練習開始の9時半になりました。皆さんが横一線に並び、一人がまずビュット(目標玉)を投げました。そのビュットに向けて、一斉にボールが投げられました(写真左)。ボールを全員で確認し(写真右)、この時はビュットに近い順でチームを決めました。スタート時点では女性6名、男性5名の11名で4チームができました。



[ペタンクねんりんピック代表2018](#)



[ペタンクねんりんピック代表2018](#)

フリーコート方式で行います。写真左は古屋イチ子さんの投球、写真右は小越清子さんの投球、目標目掛け真っ直ぐ腕を後ろに引いています。

技術指導している加藤薫さんから入った！ブラボー！と声が飛ぶ。ゲームをしながら、フォームのチェック、何処を狙うか、何故そこを狙うのか？と戦術的なことを教えていました。



[ペタンクねんりんピック代表2018](#)



[ペタンクねんりんピック代表2018](#)

写真左は投球したボールとビュットの位置を確認する鈴木靖男さん(左端)。写真右はビュットにピッタリと張り付いたボール。



[ペタンクねんりんピック代表2018](#)



[ペタンクねんりんピック代表2018](#)

写真左は監督・選手兼任の古屋均さん、ティール(相手のボールやビュットに当たる)の練習をしていました。写真右はしゃがんで目線を下げ、コートへの傾きを見ながら投球する練習もしていました。全国大会での活躍が期待できます。



[ペタンクねんりんピック代表2018](#)



[ペタンクねんりんピック代表2018](#)

向山チームは19名の会員がいます。19名の仲間と楽しみながら練習しているからこそ、継続が可能です。週2回の練習と遠征して他チームと交流試合をして切磋琢磨しています。写真左右は綺麗なフォームで投球していました。レベルが高いと思いました。



[ペタンクねんりんピック代表2018](#)



[ペタンクねんりんピック代表2018](#)

ゲームをしながら練習をしているので楽しそうです(写真左右)。笑い声が聞こえます。



[ペタンクねんりんピック代表2018](#)

会員の皆さんのフォーム(写真)は素人の私から見ても美しいと思いました。楽しいから続けられる。そして良い結果が出るから楽しい、この良い循環がチームから短期間に県代表を出したと思いました。ねんりんピック富山まで時間が有ります。さらにレベルアップしたチームとなり、活躍が期待できます。取材に協力して頂いた向山チームの皆さん有難う御座いました。

取材; 東部・田方地区生きがい特派員      加藤 孝